

令和4年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

北海道ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分
2. 問題数 25題（四肢択一法）
3. 注意事項
 - (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
 - (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
 - (3) 本冊子は、表紙を含めて10頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
 - (4) 試験開始の合図で始めてください。
 - (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
 - (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
 - (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
 - (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録基幹技能者の仕事に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設工事現場において生産性の向上を図る。
2. 建設工事現場において品質面で質の高い施工を確保する。
3. 建設工事現場においてコスト面で質の高い施工を確保する。
4. 建設工事現場において衛生面で質の高い施工を確保する。

問題 2 登録基幹技能者の地位向上・処遇改善等に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 一般社団法人日本左官業組合連合会は、建設技能労働者の人材確保・育成に関する提言を行った。
2. 一般社団法人日本建設業連合会は、建設技能労働者の賃金改善を掲げた。
3. 一般社団法人日本建設業連合会は、優良技能者認定制度の普及を推進することとした。
4. 優良技能者認定制度の認定を受けることにより、年収が数十万円増加する。

問題 3 キャリアアップシステムにおけるキャリアアップカードの活用に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 能力評価の要素として「保有資格」をキャリアアップシステムに登録される。
2. 能力評価の要素として年収等の「給与実績」がキャリアアップシステムに蓄積される。
3. 能力評価の要素として職種に応じた「知識」や「技能」等が見える化される。
4. 能力評価基準に合わせてカードが「4色」に色分けされる。

問題 4 登録基幹技能者に求められる職務遂行上のうち全般事項に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 演芸に係る基本的知識と優れた才能を有し、かつ、リーダー役として、仲間を直接指揮、監督することができる。
2. 他職種との折衝、調整を行い、工事の円滑化を図るとともに、部下の指導、教育を計画的に行うことができる。
3. 技術提案等において部下の積極的な参加を促し、グループ全体の意欲の向上とチームワークづくりができる。
4. 目標通りに工事を完成させることができる。

問題 5 登録基幹技能者の資質に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 中核的役割を担う。
2. 単能工としての施工能力を有する。
3. 部下を指揮・指導することができる。
4. 他業種との連絡・調整に努めることができる。

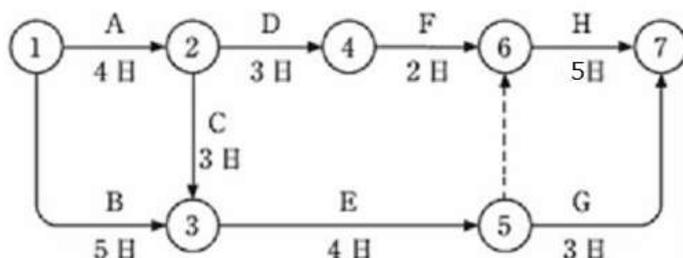
問題 6 登録基幹技能者が担うべき OJT 等に関して、最も不適当なものはどれか。

1. OJT は、職場の上司が部下の育成のために、日常の作業を通して行う指導・教育である。
2. OFF-JT は、日常の仕事を離れて行われる集合研修・教育である。
3. OJT は、Over the Jet Training のことである。
4. Off-JT は、Off the Job Training のことである。

問題 7 登録基幹技能者としてのコンプライアンスに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 法令遵守は、企業や組織の極めて重要な社会的責任である。
2. プロジェクトチームのリーダーとしての役割を担う登録基幹技能者は、高い倫理観と法令遵守の姿勢が求められる。
3. 企業は、社内規則やマニュアルにも従って事業または仕事を行うことが基本である。
4. 近隣住民たちの工事に対する要請に応えられているかという観点が必要である。

問題 8 次の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この工程表のクリティカルパスは、A→C→E→Hである。
2. この工程表の工期は、16 日である。
3. 作業 D のトータルフロート(余裕日数)は、2 日である。
4. 作業 F の最早開始時刻(EST)は、6 日である。

問題 9 建設業法における建設業の許可に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業法において、建設業の許可は、29 業種に区分される。
2. 下請代金の総額が 4,000 万円以上(建築一式工事の場合は 6,000 万円以上)の工事を下請負人に施工させる建設業者は、特定建設業許可が必要となる。
3. 営業所を 2 つ以上の都道府県に設ける場合は、国土交通大臣の許可が必要である。
4. 建設業を営もうとする者は、軽微な建設工事も建設業の許可を受けなければならない。

問題 10 特性要因図作成のためのブレインストーミング(BS)に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 人数に制限はないが、5～7名、場合によっては 20 名程度が好ましく、議題は当日考えることが望ましい。
2. BS は、集団でアイデアを出し合うことによって相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法である。
3. BS は、集団思考、集団発想法、課題抽出ともいう。
4. BS は、アレックス・オズボーン氏によって考案された会議方式のひとつである。

問題 11 建築用仕上塗材および塗料に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建築用仕上塗材は石やタイルなどに比べて重量が軽い。
2. 建築用仕上塗材は石やタイルなどに比べて下地の挙動に対する適応性が小さい。
3. 塗料は、最大でも 100 ミクロン未満の薄いフラットな仕上げが多い。
4. 仕上塗材は 0.5～15mm という厚塗りで粗い凹凸とするものが多い。

問題 12 コンクリート面に二丁掛けタイルを接着剤張りとした、セメントモルタルによるタイル下地の計画に関して、最も不適当なものはどれか。

1. コンクリート面を超高圧洗浄とした。
2. 吸水調整材を 4 から 5 倍液とした。
3. 下地調整塗材を CM-1 とした。
4. タイル下地セメントモルタル仕上げ表面を金鍍仕上げとした。

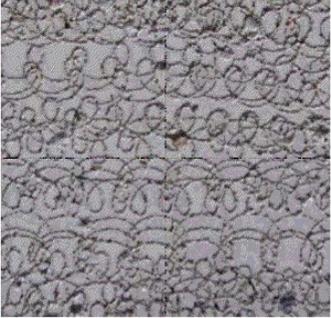
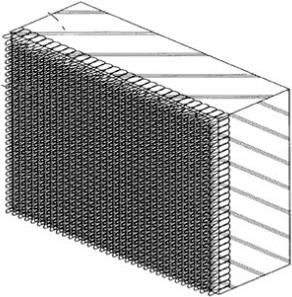
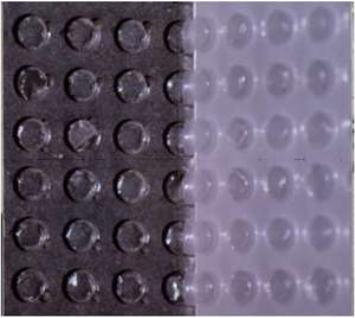
問題 13 JIS A 6909(建築用仕上塗材)の仕上塗材の種類と呼び名の組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 内装厚塗材Gは、内装せっこう系厚付け仕上塗材のことである。
2. 外装薄塗材Eは、外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材のことである。
3. 内装薄塗材Wは、内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材のことである。
4. 内装薄塗材Cは、内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材のことである。

問題 14 左官用語の解説に関して、最も不適当なものはどれか。

1. つけ送りとは、躯体の補修工事の一部としてコンクリート・コンクリートブロック下地などで下塗りに先立ち、仕上げ厚を均等にするため、セメントモルタルなどで予め不陸を調整することである。
2. 糊捏ねとは、砂粒状の仕上塗材にのりまたは合成樹脂を混合した仕上塗材の一種のことである。
3. 結合材(けつごうぎい)とは、セメント・プラスター・消石灰・壁土・合成樹脂など、他の左官材料を結合硬化させるものことである。
4. とろとはドロドロのセメントや石灰に砂等を加えない水練りしペースト状にしたものである。

問題 15 コンクリート表面の処理後の表面状態と処理方法に関して最も不適当なものはどれか。

1.	高圧水洗浄の例(吐出圧 50N/mm ²)	
2.	超高圧水洗浄の例(吐出圧 150N/mm ²)	
3.	専用シートによる起毛処理	
4.	カップサンダー掛け	

問題 16 現場調合セメントモルタルの塗り工法の塗り厚に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 1回の塗り厚は、6mm を標準とし、12mm を限度とする。
2. 仕上げ厚は、天井、庇が 12mm 以下とし、その他が 25 mm以下とする。
3. ALC パネル下地の総塗り厚は、15mm 程度を上限とする。
4. モルタルの総塗り厚が 35mm を超える場合は、溶接金網、アンカーピンまたはネットなどを取り付けた上で、モルタルを塗付する。

問題 17 劣化のメカニズムに関して、最も不適当なものはどれか。

1. コンクリートの下地にセメントモルタルを塗りつけてある左官仕上げの壁は、2. その境界面では、3. 異なった変形挙動がおきる。これを4. モイスチャームーブメントという。

1. コンクリートの下地にセメントモルタルを塗りつけてある左官仕上げの壁
2. その境界面
3. 異なった変形挙動
4. モイスチャームーブメント

問題 18 塗り壁の故障の原因、内容、是正措置とそれぞれの組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 下地の吸水が激しいときは、吸水調整材を水で 4～5 倍にして下地に塗布した。
2. エフロレッセンスは、しみ・はく離を発生するので、除去することが必要である。
3. 上塗りで、ひび割れや剥離が発生するのは、塗り層で下塗りほど貧調合にしたことによる。
4. 未乾燥のセメントモルタルにせっこうプラスターを塗り付けると、はく離やひび割れが発生するので、十分に乾燥させてから塗り付ける。

問題 19 施工管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 品質管理とは、設計図書・仕様書等発注者の要求に基づいて施工計画・施工図等を作成し、建設物の品質を管理する。
2. 原価管理では、請負契約と施工計画から材料費、労務費、現場経費などの工事に関わる原価を算出し、実行予算を作成する。
3. 工程管理では、全体工程表から各作業間の調整をして、短期工程を作成する。
4. 安全管理では、品質、原価、工程、環境などについて総合的に計画し、現場代理人だけでなく、経験のある技術者などの意見も参考にする。

問題 20 基本計画に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 全体工期、全体工費に及ぼす影響の大きい工程を優先して考える。
2. 重点工程を見極め、常時集中的に作業を進めるように考える。
3. 繰り返し作業により習熟を図り、効率を高める。
4. 現場の制約等を考慮して資機材、労働力などの円滑な回転を図る。

問題 21 揚重計画に関して、最も不適当なものはどれか。

1. どの資材にも対応できる揚重機器を考慮して計画する。
2. 揚重機器の効率を考えて計画する。
3. 梱包材の搬出も考えて計画する。
4. 他業者と揚重の週間工程表を作成し、毎日の打合せの中で再確認する。

問題 22 原価管理における実行予算に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 各種の具体的な施工計画を立て、その工事を実行するのに必要な費用をできるだけ精密に予測・算出したもの。
2. 工事が着手する前に、見積もり業務を行った部署で作成する。
3. 実行予算は、施工計画と一体となって作成する必要がある。
4. 工種や工程ごと、作業ごとに抽出・分類し、契約相手の発注先ごとにとりまとめる。

問題 23 わが国建設業における労働災害の現状について、次の記述のうち最も不適当なものはどれか。

1. 死亡者数は昭和 45 年からの 50 年間で89%が減少した。
2. 労働災害減少の主要因の一つとして、発注者による安全施工に関わる各種技術基準の整備が挙げられる。
3. 建設業の安全対策が難しい理由の一つは、作業内容が日々変化するため慣れによる安全効果が期待しにくいことが挙げられる。
4. 死亡災害を事故の型別で見ると、建設工事全体では建設機械による事故が最も多い。

問題 24 各種労働災害防止対策について、次の記述のうち最も不適当なものはどれか。

1. 高さが 2m 以上の所での足場組立・解体作業には作業床を設置する必要がある。
2. 脚立やはしごの安全対策は、正しい設置と使い方をすることである。
3. 居ながらリフォーム工事では電気・ガスが容易に使用できるので安全に作業ができる。
4. WBGT は熱ストレスの評価を行う暑さ指数のことである。

問題 25 法で定められた各種安全管理について、次の記述のうち最も不適当なものはどれか。

1. 複数業者が混在する 50 人以上の建設現場では、安全管理のために元請業者は統括安全衛生責任者を選任する必要がある。
2. 型枠支保工の組立・解体作業には作業主任者を選任する必要はない。
3. 安全衛生教育の一つとして、新規入場者教育が定められている。
4. 作業員の義務として『4S』、整理、整頓、清潔、清掃に努める必要がある。